

あすなる通信 43号

今月のことば

編集 NPO法人みよし子育て・学び支援あすなる
事務局 〒728-0006 三次市畠敷町 36 番地 7
(TEL 0824-55-6301 FAX 0824-55-6302)

発行日 2021年1月25日

進まざる者は必ず退き、
退かざる者は必ず進む

—福沢諭吉—

年頭のご挨拶

理事長 松本 信司

厳冬の候、厳しい寒さが続いています。皆様方にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

今年の冬は、年明けの大寒波襲来で、東北・北陸を中心に大雪に見舞われ、多数の死者も出る程の災害になっています。また昨年一月一五日に日本で初めてコロナウイルス感染者が出てから、今日に至るまで、世界中で猛威を振るっているコロナウイルスですが、未だに収まる気配はありません。早く収まることを願うばかりです。

コロナ禍で生活や経済活動が厳しい状況にある中で、「NPO法人みよし子育て・学び支援あすなる」に対して、これまでと変わらぬご支援いただいている企業・団体・個人の皆様には心より感謝申し上げます。本年も変わらぬご支援の程、よろしくお願います。

拡大する教育格差

さて、昨年一年を振り返ってみますと、コロナで始まりコロナで終わった一年でした。

コロナ禍の中、子どもたちを取り巻く環境は益々悪化し教育格差は拡大するばかりです。昨年二月末の突然の学校休校により、子どもたちの置かれている状況が一変したのは記憶に新しいところで、給食がなくなり、学校という学

びの機会を失い、子どもたちが学びたくても学べない状況になったことが報じられました。

また、保護者の環境も一変しました。休校により、食費や光熱費など日々の出費も増える一方で、収入減に追い込まれ、仕事と育児の両立はさらに難しくなりました。大きなストレスを抱え、子どもや保護者を支える生活基盤が崩壊寸前となっています。

「教育格差」とは

「教育格差」を検索すると、学力格差、達成格差や地域間格差、高等教育格差など様々な関連語が出てきます。教育格差を専門的に研究されている早稲田大学の松岡准教授は、『教育格差は学習機会の有無や学力の高低のような結果の差ではなく、子ども本人に変えることができない初期条件である「生まれ」と結果に関連があることを意味します。さまざまな「生まれ」がありますが、なかでも出身家庭の社会的地位と出身地域は主要な初期条件です。この「生まれ」によって、学力や学歴などに違いがあることを教育格差と呼びます。社会的地位は文化的・経済的・社会的な要素を統合した概念で、親の学歴・世帯収入・職業などで構成されていて、高いほど子どもの教育にとって有利な条件といえます。』と定義しています。端的に言うと、教育格差とは「子どもたちには変えることのできない家庭の経済状況や居住する地域によって

学力や学歴に差があること」と言えます。

コロナ感染拡大によってますます教育格差が広がっています。保護者や地域の大人、また行政の責任において格差解消に努めなくてははいけません。

私たち「NPO法人みよし子育て・学び支援あすなる」は、「教育格差を解消する」という理念のもと設立された学習塾です。格差の解消の一助を担っていると自負し、できることを模索してまいります。

昨年の一斉休校の際には、あすなる塾では、役員会を開催し、子どもたちを守るために次の三点を検討し、実施しました。

○地域の子どもたちに無料で塾を開放する(三月)

○前期の授業料の減額

○三年生に対する追加の授業及び学習会の開催(五月以降) 申し分けありませんが、塾の体力としてはこれが限界でした。

二〇二一年は、緊急事態宣言が始まり、どこまで行くのか、まったく先の見えない出発となりました。

あすなる塾では、今後も子どもたちの学習する権利を守るために、多くの皆様方のご支援をいただきながら頑張っていきたいと思っております。

一・二年生の作文紹介

現在あすなる塾には十二人の生徒が在籍しています。そのうち三年生八人の作文を通信四十二号で紹介しましたが、今回は、一・二年生の作文を紹介します。新しい年を迎えて、コロナに振り回された昨年を振り返りながら、今の心境を書いていきます。新しい年を良い年にしようとしている前向きな姿勢を読み取ってくださると幸いです。

まつさらな自分

一年生 A

僕は去年まで六年間八次小学校に通いました。そのまま八次中学校に行くという選択肢もないこともなかったのですが受験して新しい場所で新しくチャレンジできるなら一度中学校進学という時を機に、一ステップ進歩できた自分になろうと思ひ県立三次中学校に入りました。この選択肢が、正しかったかどうかは全然分かりませんが、少なくとも言えることはこの学校にきて自分を少しでもみがけたことはたしかです。

はつきり言って入学した時の一年生全体の雰囲気を見た時は受験するレベルの学校ではないなと感じました。しかし今年一年たつて感じるの、全員が確実にあの入学した時のレベルではないということです。少しですが、全員が成長して学んでいます。このまま全員が個性を出して一人ひとりが少し

ずつ成長できるクラスになることができるようにがんばりたいです。

今年で、二年生になる自分も二年生らしい態度をとっていきたいです。今年一年生にも、僕たちが見本を見せて、県立三次中学校の生徒として誇りを持って行動できるようになってもらいたいです。

今の一年生、二年生以上がんばってもらいたいです。

新一年生といえば、あすなる塾の新一年生も楽しみにしています。

自分も今年二年生になります。本当は早い一年だった気がします。コロナで休校だったり、行事が減ったりしたくないというしかない一年でした。しかし今年、少しはコロナが落ち着いていると思うので、行事を楽しんだり少しはできると思います。この一年間を大切にしていきたいと思っています。

今年一年の決意

一年生 B

僕は、県立三次中学に通っています。行きたいと思った理由は、いろんな人と今までとちがったことをしてみたいと思ったからです。いろいろな人と勉強するのは楽しいけど、自分が苦手なところに差をつけられることがしんどいです。学校の先生や、前の塾の先生にも聞くことができずに、悩んでしまったのでテストの点も思ったように

伸びず、わからないところを素直に分からないと言えませんでした。自分が質問できて教えてもらえると、このあすなる塾にきました。テストの点がとても悔しかったので、今年、塾や学校の先生にきちんと分らないところを聞いて、テストではもっと点をとれるようにしたいです。この塾に来てからは、苦手なところも楽しく分かりやすく勉強することができるようになったのでこの塾に来て良かったと思います。自分でもっとできるようにしたいと思ってこの塾に来たので自分の成績を上げ、親や支援してくださっている人たちに応えるためにも一生懸命がんばろうと思います。

そのためには、今年、自分の苦手克服のために、先生に分らないところをたくさん聞いて、テストの点を上げたり、自分の苦手なところも自信が持てるようになり、あとで良い一年だったと思えるようにしたいです。

部活では、陸上部に入っています。自分は短距離をしています。今、大学で長距離をしているのとこのように、タイムを上げて、長距離のメンバーとして走れるようになりたいので、日頃から勉強と部活をどちらもきちんとするようになりたいと思います。

三年生になったら

二年生 C

去年は自分にとって意味のある年になりました。

去年の二月くらいに、新型コロナウイルスが流行し、六月まで学校に行けませんでした。とてもつらかったけど、何よりスキーで大会に出場することができずに、結果を残せないままシーズンが終わったことが一番悔しかったです。シーズンの始めに行われた全国中学校スキー選手権の予選では、練習の成果を発揮できずに負けてしまいました。とても悔しくて、ずっと基礎練習をしていました。シーズンが終わっても、六月までの自粛期間中では、父と弟と毎日走って筋トレをしました。そうやって努力したから、今年の一月七、八日に行われた全中の予選では勝つことができました。自分のスキーの目標は、全中で三十位以内に入ることだから、これからも頑張ろうと思いました。

勉強の方では、去年の四月からこの塾に通い始めて、テストで良い点を取れるようになりました。特に、数学と英語は一年生のときに比べるとすごく高くなりました。数学では四十六点しか取れていませんでしたが、九十点を取ることができました。とてもうれしかったです。また、英語はたくさん単語を覚えることができて、学校のALITの先生とうまく会話できるようになりました。相手の英文を聞き取り、

理解して、自分で考えて英文を伝えて
会話が成立した時は、とてもうれしく
て楽しいです。

学校生活では、提出物や身の回りの
整理整頓などの当たり前のことができ
てない時が多かったです。だから、今
年は勉強の点だけではなく生活の点で
も良い点を取ります。

これからの学校生活では、先生との
関係、友達、そして自分を大切にしよ
うと思います。

- ① 誰かの迷惑になることはしない、
- ② 人が嫌がることはしない、
- ③ 当たり前前はことはする、
- ④ いつもプラス思考、

今年には主にこの四つを意識して生活
します。

いままでの自分、これからの自分

二年生 D

去年は新型コロナウイルスによって、
体育祭や文化祭などあまり大きな学校
行事ができませんでした。今年の二月
の二十四、二十五日に予定されている
修学旅行もどうなるかわかりません。
だから僕自身もこれからも新型コロナ
ウイルスに感染しないように頑張ろう
と思っています。コロナのせいで、学
校では四六時中マスクを着用していま
した。冬はいいのですが、夏は暑く、
とても厳しかったです。三年生になっ
ても、コロナウイルス感染は続くと思

うので、今ある時間を大切にしていき
たいです。

受験まであと一年を切ったので、こ
れからの時間を有意義に使っていき
たいです。三年生は将来の進路を決めな
いといけないときですが僕はもう将来
の夢が決まっていますので、それに向か
って頑張っていきたいです。小さい頃
からのあこがれだった兄二人のように
ちゃんと自分の夢に向かっていきたい
と思います。

高校では中学校でできなかったこと
や、今までの勉強の復習、部活動など
を頑張っていきたいです。まだこれか
ら取れるかもしれないですが、漢字検定
や英語検定、数学検定なども取りたい
です。夢が何であつても、小学校から
高校までの復習は大切なので、しっか
りとやっていきたいです。

部活動は、バスケットボールをまじ
めにやっていきたいと思っています。
去年はうれしかったことが二つありま
した。

一つは、二年になって塾に同じ学年の
人が増えたことです。一年の時は、ず
っと一人でやってきたけれど、もう一
人増えたことで塾が楽しくなりました。
今はとても仲良く勉強しています。

二つ目は、バスケットボールの地区
選抜選手に選ばれたことです。そのと
きは、まさか自分が選ばれると思つて
おらず、名前を呼ばれた時はとてもう
れしかったです。本番の試合では勝て

なかったけど、他のメンバーと仲良く
できたので良かったです。そのメンバ
ーでの練習は、自分の中学校の部活動
と同じくらい楽しかったので、このメ
ンバーともう一回練習したいです。
これからも自分の将来の夢に向かっ
てがんばっていききたいです。

ご支援していただいている企業・団体

- ・ ミヨシ電子株式会社
(三次市東酒屋町)
- ・ (株)三次衛生工業社
(三次市四拾貫町)

ご支援していただいた皆様

- ・ 加笠一宇 (三次市十日市南)
- ・ 木倉敬之 (東京都東久留米市)
- ・ 瀬川順子 (三次市三良坂町)
- ・ 半田孝江 (三次市三良坂町)
- ・ 匿名 (三次市三良坂町)
- ・ 匿名 (三次市十日市南)
- ・ 匿名 (三次市南畑敷町)
- ・ 匿名 (庄原市)
- ・ 匿名 (三次市粟屋町)
- ・ 匿名 (三次市十日市東)
- ・ 匿名 (庄原市高町)
- ・ 匿名 (三次市高杉町)

NPO法人あすなろ・賛助会員募集

賛助会員：ボランティア活動は出来ないが、寄付金等でご協力できる企業や個人

個人年会費：1口(5,000円)以上

企業等年会費：1口(10,000円)以上

特典：あすなろ通信送付(年3回発行)

問合せ：あすなろ通信の発行住所と同じ(TEL・FAXとも)

コロナ時代を生きる
 新型コロナウイルスが猛威をふるっている。二回目の緊急事態宣言が十一都府県に発令され、飲食業の時短要請と不要不急の外出自粛が要請されている。

昨年四月の緊急事態宣言発令時の全国の感染者数は千人未満であった。今回は、はるかにそれを超えて爆発的な感染が全国で確認されていたのに、政府が緊急事態宣言を発令しなかったことは、対応が遅いと非難されて当然である。全国的な拡大の一因となったGo To トラベルの開始や中断の判断も適切とは言い難い。「新型コロナウイルスの爆発的感染は絶対に防ぎ、国民の命と健康を守り抜く」と所信表明演説で述べた菅首相の言葉がむなしく響く。

コロナウイルスには大晦日も正月もないと警鐘を鳴らしたのは日本医師会だったが、国会はこの緊急事態に大晦日正月返上という心意気はないのか。昨年四月の緊急事態宣言の時ほど人々に緊急事態である事が伝わりきっていないのは政府の対応のまずさにも一因があると思う。

今はまだ、有効なワクチンの接種は実施に至らず、コロナウイルス感染には後遺症が残ることがあるとの報告がある。ワクチンが実用化され、有効な

治療薬が開発されれば、インフルエンザと同じような対応が可能となるかもしれない。

コロナウイルスを絶滅させることは不可能である。とすれば、どのよう

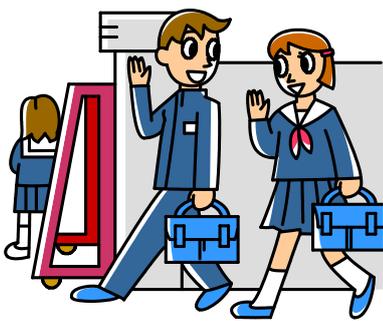
にコロナウイルスと付き合うか、ウィズ・コロナの時代の新しい生活様式の確立しかない。
 人々は日常の生活の中でマスクを着用し、手洗いや消毒を常に心がけるという新しい生活様式を実行している。インフルエンザの発症例が例年になく少ないのはこのおかげだと思う。同じ対策でコロナウイルスの感染が止まらないのは、感染力が強いのだと感じずにはいられない。また、少しの油断が家庭内に感染をもちこみ、職場や学校へと拡大していることを考慮すると、新しい生活様式を油断なく継続していくことが大切だ。

飲食業の逼迫は深刻だが、医療の逼迫はさらに重大である。トリアージ(選択治療)が目の前に迫っている。さらに、医療関係者は仕事量だけでなく、精神的にも追い込まれている。「あなたの子どもは保育園を休ませて」と他の保護者に言われた看護師の知り合いがいる。

看護師や医療関係者だけではない。長距離ドライバーの知人は「感染を拡大させているかのようにみられる」と心の苦悩を話してくれた。
 私の三次の生家には在宅で訪問看

護やりハビリを受けている高齢の父がいる。広島在住の私が農作業や介護に携わるために広島と三次を往來することを、看護やりハビリの事業者は好ましく思っていない。感染拡大地域との往來を自粛することが重要だとはいえ、私たちのような利用者は、訪問介護を取るか、広島在住の家族との往來を取るかの選択を迫られることになる。そのような選択は不可能であるにもかかわらず。

今やだれが感染しても不思議ではない。感染の恐怖もあるが、感染した人を悪人のごとく扱ったり、医療従事者を差別する、このことが社会に広まることの方がさらに恐ろしいと強く感じる今日、このごろである。ウィズ・コロナの時代をどう生きるか、私たち一人ひとりに問われている。



2021年度 塾生 募集 あすなろ中学部

- 少人数&個別指導で学べます。
- コースは2種類。
 - ◇英数コース(週2回) 月14,000円
 - ◇理社コース(週1回) 月6,000円
- 授業料減免措置があります。
 - ◇ひとり親家庭は半額免除
 - ◇生活保護家庭は英数コース 月2,000円、理社コース 月1,000円
- あすなろ塾は授業料以外の経費(テキスト、模擬試験、夏季講座等)は徴収いたしません。

- 入塾受付
- 期間 3月1日(月)~3月5日(金)
- 時間 16:30~18:00
- 場所 あすなろ塾
- 電話でも受け付けます。
 - Tel 0824-55-6301
- 入塾試験 3月17日(水)
- 時間 18:30~20:30
- 試験教科 英語、数学

